

令和6年度与進小学校 「前期・後期学校評価アンケート」結果について 別紙

※アンケート集計は、（4 そう思う 3 まあそう思う 2 あまりそう思わない 1 そう思わない）の評価を4点満点で平均した数値になっています。：最高4点 最低1点

最低1点

前期調査数 461名 (在籍者数 816名 実家庭数646名)				後期調査数 296名 (在籍者数 813名 実家庭数647名)							
児 童		前期	後期	保 護 者		前期	後期	教 員		前期	後期
1	楽しく学校に通うことができた。	3.58	3.54	お子さんは、楽しく学校に通っている。		3.28	3.19	子供は、楽しく学校に通っている。		3.30	3.28
2	目標に向かって行動することができた。	3.36	3.43	お子さんは目標(志)をもって行動できる。		2.89	2.84	子供は夢や目標(志)を持つことができた。		3.09	3.26
3	友達と協力して活動に取り組むことができた。	3.55	3.58	お子さんは、他人と協力して行動ができています。		3.16	3.14	子供は、友達と協力して活動に取り組むことができた。		3.35	3.31
4	何事にもねばり強く取り組むことができた。	3.43	3.46	お子さんは、失敗を恐れず、挑戦し続けることができる。		2.79	2.70	子供は、何事にもねばり強く取り組むことができた。		2.86	3.05
5	自分にはよいところがある。	3.24	3.30	お子さんは、自分のことを大切にしている。		3.24	3.19	子供は、自分のことを大切にしている。		3.30	3.33
6	あいさつがよくなった。	3.44	3.45	お子さんは、あいさつをよくする。		3.02	2.91	子供は、あいさつがよくできている。		2.88	3.23
7	ふわふわ言葉を使うことができた。	3.29	3.37					子供はふわふわ言葉を使うことができている。		2.81	2.87
8	静かに廊下を歩くことができた。	3.23	3.27					子供は静かに廊下を歩くことができている。		2.42	2.38
9	よいと思うことは、自分で進んで行動できる。	3.32	3.37	お子さんは、言われる(指示される)前に、行動することができる。		2.51	2.43	子供は、自ら考え行動することができる。		2.67	2.67
10	授業が楽しいと感じている。	3.46	3.45	お子さんは、授業を楽しいと感じている。		2.92	2.88	子供は、授業を楽しいと感じている。		3.07	3.03
11	授業の内容がよくわかる。	3.40	3.40	お子さんは、授業がよくわかると感じている。		2.87	2.79	子供は、わかると実感していると感じる。		2.98	2.95
12	自分の思いや考えを、相手や仲間にきちんと伝えることができた。	3.24	3.34	お子さんは、自分の思いや考えを、相手や仲間にきちんと伝えることができている。		2.78	2.75	子供は、自分の思いや考えを、相手や仲間にきちんと伝えることができている。		2.86	2.90
13								子供は、温かい聴き方・優しい話し方ができている。		3.02	3.13
14	自分が決めたあてや約束に沿って家庭学習ができている。	3.35	3.41	お子さんは、自分が決めたあてや約束に沿って家庭学習ができている。		2.76	2.75	子供は自分が決めたあてや学習の約束に沿って家庭学習ができている。		2.81	2.82
15	自分や友達の安全に気を付けて生活できた。	3.53	3.56	お子さんは、自分や友達の安全に気を付けて生活できている。		3.18	3.20	子供は、自分や友達の安全に気を付けて生活できている。		2.88	2.85
16	学校は、自分を大切にしてくれると感じる。	3.56	3.58	学校は、お子さんを大切にしていると感じる。		3.14	3.15	一人一人を大切に、個に応じた支援ができている。		3.14	3.23
17	先生は、自分を認め、励ましてくれる。	3.57	3.58	学校は、お子さんを「認める」「励ます」「ほめる」してくれると感じる。		3.12	3.08	「認める」「励ます」「ほめる」ことを積極的にした。		3.56	3.51
18	友達、自分を認め、励ましてくれる。	3.58	3.62					学級には認め励まし合う空気感がある。		3.26	3.28
19	学校・学級は、失敗しても大丈夫な雰囲気がある。	3.44	3.46	学校・学級は、仲間の失敗を温かく受け止められる雰囲気になっている。		3.00	2.97	失敗を温かく受け止めてくれる学級の雰囲気になっている。		3.21	3.28
20	先生に、相談しやすい。	3.53	3.52	お子さんのことについて学校は、相談しやすい。		3.05	2.97	保護者や子供が相談しやすい環境を作っている。		3.23	3.28
21	学校は、安心できる場所になっている。	3.49	3.52	学校は、いじめを許さない安心できる場所になっている。		2.87	2.92	いじめのない学校づくりへの取り組みにより、学校は子供が安心できる場所になっている。		3.35	3.44
22				学校は、情報を積極的に発信している。		3.00	3.05	積極的に情報発信を行うことができた。		3.05	3.08
23				学校は、保護者や地域の願いや考えを受け止めながら教育活動にあたっている。		2.95	3.00	保護者や地域の願いや考えを意識して、教育活動にあたっている。		3.23	3.21
24	学年や学級が目指している目標(一員として自分がやるべきこと)を知っている。	3.55	3.60	学年や学級の目指す姿が家庭にも伝わっている。		2.83	2.85	学年・学級目標を子供や保護者と共有している。		3.05	3.18

【学校評価アンケート考察】

子供の評価がほとんどの項目で前期より上がっていた。学校目標「志をもち、共にやりぬく子」に向けて、様々な教育活動に一生懸命頑張りが、達成感を得ることができたと感じられる。特に、2学期は行事やイベント等が多く、個人や学級で目標に向かって粘り強く取り組むことができた。その中で多くの人と関わり、互いに励まし合う雰囲気が生まれたことにより、ふわふわ言葉を使ったり、友達や先生に励ましてもらったりしたことによって、「できた」という肯定的な結果が増えることにつながった。引き続き、学校生活のあらゆる場面で、すべての教職員が児童一人一人を大切に、温かな声掛けや支援をしていきたい。

「9 よいと思うことは、自分で進んで行動できる。」の項目では、児童は肯定的な回答が多いが、保護者と教員の数値は低い結果となった。積極的に多くのことにもっと取り組んでほしいという思いが強いため、児童との評価の差ができたと考えられる。善悪の判断、規範意識を育てると共に、学校生活の中の様々な活動で、自信をもって活動することができるように声掛けをしていく。

評価が、児童と保護者との間に差がある。児童の様子が分からないとの回答もあったため、児童が一生懸命活動に取り組んだり、頑張っていたりする様子を便りやブログ等で発信していく。また、児童の様子を見るために、いつでも学校に来てよいことを伝えていく。今後も、学校に携わる皆様の思いを大切にしながら、友達と仲良く、楽しく生活できる学級づくり、学校づくりを進めていけるよう、職員一丸となって教育活動にあたっていきたい。